

2024

7.17 (水) 12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_EcgjmcIcgSt2BS0t4oVnolw

【技術支援】九州大学 Q-AOS

ジェンダー平等への「長い列」 —国際社会と日本の男女共同参画政策の歴史—

司会：田中 俊徳 准教授 (Q-AOS コーディネーター)



Key Words

ジェンダー

男女平等政策の歴史

国連

女子差別撤廃条約

男女共同参画社会基本法

ポジティブアクション

ジェンダーギャップ指数

神崎 智子 理事

九州大学



九州大学法学部卒業後、北九州市役所に入庁し、人事や企画部門を経て、アジア女性交流・研究フォーラム国際情報課長、北九州市立男女共同参画センター副所長、北九州市立大学ひびきのキャンパス担当部長などをつとめました。在職中に九州大学大学院法学研究科で学び、博士号（法学）を取得。アジア女性交流・研究フォーラム主席研究員、福岡県男女共同参画センター「あすばる」センター長を経て、2023年6月から現職。ほかに、日本BPW連合会副理事長。

著書：『戦後日本女性政策史—戦後民主化政策から男女共同参画社会基本法まで』（単著）、『《写真記録》これが公害だ 北九州市「青空がほしい」運動の軌跡』（解説）、『《写真記録》関門港の女沖仲仕たち』（解説）ほか。

男女共同参画社会の形成は、21世紀の我が国社会を決定する最重要課題と位置付けられています。

日本の男女平等（ジェンダー平等）政策は、国際社会に背中を押されながら進んできました。

セミナーでは、世界の中の日本という視点からその歴史を振り返り、男女共同参画とは何か、なぜ男女共同参画が必要か、日本の現在地と課題についてお話しします。